

2014 年度 入学式 式辞

中京大学学長 北川 薫

春らんまんの、緑が芽吹き、万物が生氣に輝いて生き生きとする春を迎えました。今日、中京大学に入学する新入生の皆さんを歓迎するとともに、お祝い致します。

皆さんは、3万人を超える志願者の中から選抜されて、この日を迎えました。これから4年間、皆さんが学問に、文化活動に、そしてスポーツに、と澁刺としたキャンパスライフを送れるよう、中京大学は応援します。

また、本日まで新入生諸君を見守り、支えてこられたご両親はじめ関係者の喜びは、いかばかりかと拝察し、心よりお祝いを申し上げます。

さらに、大学院へ入学あるいは進学された皆さんも、これから取り組もうとする研究に意欲を燃やしておられることと思います。頑張ってください。

さて、今年度、中京大学は開学60周年になります。60年前の、1954年に開学した商学単科の短期大学は、今や学生数1万3千人、11学部と11の大学院研究科を擁する、全国有数の総合大学になりました。

成長の原動力となったのは、「挑戦と改革」です。その時々^の社会や地域の要請を受けて、学部を新設し、また改組をも進めてきました。

例を挙げます。今年度、文学部には歴史文化学科が新設されました。国際英語学部は、国際英語キャリア専攻、英語圏文化専攻、国際学専攻の3専攻制に改組されました。「故きを温^たずね、新しきを知る」という言葉がありますが、まさに過去を極める学科とともに、世界を視野に活躍できる人材の養成にも、取り組んでいきます。

これまでも、心理学部を単一の学部として独立・誕生させたのは本学が全国で初めてでした。国際教養学部は早稲田に次いで2番目です。商学部を改組したのが総合政策学部で、3年前には体育学部をスポーツ科学部に、1年前には情報理工学部を工学部に改組しました。

まさに留まることのない挑戦と改革です。

その一方で、法学、文学、経済、経営という歴史ある学問領域も重んじ、法学部には『法実践プログラム』、経済学部には『エグゼクティブ・プログラム』というプログラムも用意されています。

この幅の広さが、総合大学である中京大学なのです。

そして、中京大学は今年度を新たな展開の年と捉え、3年かけて、これからの計画「NEXT10」を策定しました。皆さんの在学中には、様々な改革がなされていきます。

ところで、大学で学ぶということは、どういうことか？ こういう問いに対して、イギリスのジョン・スチュアート・ミルは、「大学教育について」と題して講演しています。一般

教養科目の重要性をまず指摘し、人文、社会、自然の諸科学について詳しく論じた後、最後に「諸君が人生に対してますます深く、ますます多種多様な興味を感じるようになる」ことと指摘しています。

皆さんは、中京大学に入学することで、学部をまたいで友人を作ることができます。

是非、多くの友人を作ってください。世の中には様々な考え方、生き方があります。他人である友人の考え方や行動様式を知ることで、自分自身をも知ることになります。また、1人では体験しきれないことでも、友人から見聞することで疑似体験することもできます。友人の数が多いほど、その範囲は広がります。

そのために、中京大学はキャンパスを整備し、充実した環境を作り上げることで60周年を迎えました。名古屋キャンパスには、図書館・学術棟、本部棟の二つの高層ビルがあります。図書館・学術棟には、中京大学の開学者梅村清明先生の名前をつけた500人収容の学術ホール「清明ホール」があり、全学規模の講演会、全国規模の学会などに使われています。図書館は地元の方々にも開放され、学生諸君が自主的に学べるラーニングスクエアも完備しています。本部棟には、工学部の研究室などが入っています。二つの建物は、名古屋の学術・大学ゾーンを貫く山の手通り沿いにあり、この中部地区をけん引していく知的教育ゾーンのシンボルとなっています。

また、現代社会学部やスポーツ科学部等がある豊田キャンパスは、ユニバーシティ・パークともいえる緑豊かなキャンパスになっています。野球、サッカー、ラグビー、陸上競技トラックなど国際規格の各種専用施設がそろう、アイスアリーナはナショナル・トレーニング・センターとして、ソチオリンピックフィギュアスケートの強化拠点施設でもありました。

施設整備と同時に、研究熱心で、その成果を教育に還元できる多くの先生方も本学に招きました。今年度、新たに本学に赴任する先生方は28名になります。ハード、ソフト両面の環境の充実は、皆さんのキャンパスライフを豊かなものとします。思う存分、学問に、スポーツに、友人との交流に、4年間を当ててください。そうした中から、自分の進むべき道を尋ね、心身ともに練磨して行ってください。

次に建学の精神についてお話します。私学には、『なぜ、この学校を開くのか』を社会に明示した、それぞれ独自の建学の精神があります。これが各大学の伝統となり、校風を形成する礎になっています。中京大学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」です。

「学術」は学問・知識のあくなき探究心を、「スポーツ」は健全な心身のバランスを指しています。つまり、「学術とスポーツに真剣に取り組むことで人格形成、人間形成を目指しなさい。」「その大切なところはジェントルマンシップであり、レディシップです。」

すなわち、①ルールを守る ②ベストを尽くす ③チームワークをつくる ④相手に敬意を持つことである、と説いています。

中京大学を貫く精神は「知力」「体力」「気力」と「フェア精神」を磨くことにあります。この建学の精神は人間が生きていく上でも、社会生活を営む上でも、とるべき道を示して

います。どうか、この建学の精神を心にとどめて心身ともに豊かな学生生活を送ってください。

最後となります。「中京大学の学生は元気にあふれている」と、社会から高く評価されています。それには、学生諸君の元気さは勿論のことですが、教職員の元気さも大きな要因となっています。教職員が学生とともに手を携えて、信頼しあうことでこの元気が醸し出されている、と私は考えています。今日から、中京大生となる皆さん、これからは教職員と仲良く、また互いに信頼しあうことで実りある学生生活を送ってください。皆さんが志と勇気を持って事にあたっていくかぎり、大学は必ず皆さんを応援していきます。今日からの4年間、皆さんの大いなる成長を願って、学長式辞といたします。

入学、誠におめでとうございます。